



豊川市民病院新改革プラン（概要版）

（大項目1）公立病院を取り巻く現状と改革の推進について（P1～3）

公立病院改革ガイドライン（H19.12）に基づくこれまでの取組

- ・経営状況の悪化や医師不足等により医療提供体制の維持が困難な状況
- ・公立病院改革プランの策定を義務付け、経営の効率化、再編・ネットワーク化、経営形態の見直しを推進
- ・経常損益が黒字の病院割合がプラン策定前の約3割から約5割へ改善

新公立病院改革ガイドライン（H27.3）に基づくさらなる改革の推進

(1) 策定期限：地域医療構想の策定状況を踏まえつつ平成27年度又は平成28年度中
 (2) プランの期間：策定年度又はその次年度～平成32年度を標準
 (3) プランの内容：以下の4つの視点に立った取組を明記

地域医療構想を踏まえた役割の明確化 ・病床機能、地域包括ケア構築等を明確化	経営の効率化 ・経常収支比率等の数値目標を設定
再編・ネットワーク化 ・経営主体の統合、病院機能の再編を推進	経営形態の見直し ・地方独立行政法人化等の4形態を例示して推進



当院の取組に対する点検・評価については、設定した数値目標は概ね達成
 しかし、全国的には、依然として医師不足等の厳しい環境が続き、人口減少や少子高齢化が急速に進展
 地域ごとに適切な医療提供体制の再構築に取り組む必要性



医療制度改革に基づく取組

(1) 医療提供体制の改革（病床機能の分化・連携）
 ・都道府県が、平成37年（2025年）の機能別の医療需要・必要病床数と目指すべき医療提供体制等を内容とする地域医療構想を策定（平成28年度中）
 ⇒構想区域単位で、4つの病床区分（高度急性期・急性期・回復期・慢性期）ごとに提示



豊川市民病院新改革プラン（H29.3）を策定

(大項目2) 地域的動向と当院の現況分析
 (大項目3) 4つの視点に立った改革を立案
 (大項目4) 点検・評価・公表等

新ガイドラインに沿って構成

（大項目2～4）豊川市民病院新改革プランについて（P4～32）

（大項目2）地域的動向と当院の現状分析（P4～17）

① 地域的動向の分析（P4～13）

- (1) 人口推計：今後25年間で緩やかに減少。年少人口、生産年齢人口が減少する一方で、高齢者人口が大幅な増加
- (2) 患者推計：患者流出入状況については、一般・療養・精神の全病床において流出患者を流入患者が上回っており、域内自足率が高い
 入院患者は平成42年、外来患者は平成37年をピークにその後減少。いずれも高齢者の割合が増加
- (3) 傷病大分類別患者数分析：入院患者は循環器系、外来患者は消化器系が最も多い
- (4) 医療機関分析：東三河南部医療圏には67医療機関があり、うち35が病院に区分され、当院は主に高度急性期・急性期機能を担当
- (5) 救急搬送データ分析：東三河南部医療圏の中では豊橋市民病院に次ぐ救急車受入件数で、その85.1%が市内からの受入れ
- (6) 介護資源分析：今後25年間で市内人口は26千人減少する見込みの一方、高齢化率は9.0%上昇する見込み
 介護需要は平成42年にピークを迎えることが見込まれ、受入先となる介護施設数は、入所型介護施設が県平均を上回る

② 当院の現状分析（P14～17）

- (1) 基本情報として、経営形態(地公企法全部適用)、許可病床数(558床)、稼働病床数(517床)、診療科(30科)等を記載
- (2) 施設状況として、延床面積(44,670㎡)等を記載
- (3) 診療機能として、主要設備、機関指定、学会等認定施設状況を記載
- (4) 利用実績として、入院患者、外来患者、救急患者及び経営状況を記載
 入院患者、外来患者いずれも市内患者が約8割を占める状況
 救急患者については、年間約6,000件の救急車受入状況
 経営状況については、病院新築移転後3年目のH27年度に黒字決算を達成

(大項目3) 4つの視点に立った改革を立案 (P18~31)

① 地域医療構想を踏まえた役割の明確化 (P18~21)

(1) 地域医療構想を踏まえた果たすべき役割

東三河南部医療圏における必要病床数等の数値

(単位：床)

区分	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
平成37年の必要病床数①	537	1,633	1,587	1,457	5,214
平成27年の病床数②	820	2,427	563	2,795	6,605
差引 (①-②)	△ 283	△ 794	1,024	△ 1,338	△ 1,391

- ・地域医療構想では、高度急性期・急性期・慢性期機能を減らしつつ、回復期機能を増やし、全体で1,391床の病床減を目指す
- ・当院は大項目2の現状分析結果から、引き続き高度急性期・急性期機能を担っていくべき
- ・一方で、不足する回復期機能を他の医療機関に求めることは、現状では困難

⇒主に高度急性期・急性期機能を担いつつ、一部回復期機能を備えることで同医療圏における役割を果たす

⇒それとともに、5疾病（がん・脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病・精神疾患）5事業（救急医療・災害時医療・へき地医療・周産期医療・小児医療）については、高度・特殊・専門医療ならびに救急医療に積極的に取り組み、地域の住民が安心して医療の提供を受け入れられるよう、将来の医療需要等の分析結果を踏まえた、現状維持以上の取組をベースとして拡大・推進を目指す

(2) 地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割

- ・豊川市がH26年度から取り組む地区医師会モデルにおいては、「在宅医療」がキーワードとして掲げられ、その主役は「かかりつけ医」とされ、重症患者等の受入については、地域で連携することが重要
- ⇒当院は主に高度急性期・急性期を担う立場として、急性増悪時対応の後方支援病院として関与することで役割を果たす



(3) 一般会計負担の考え方

- ・国の示す地方公営企業繰出金通知（繰出基準）に基づき、適正に繰入れ

② 経営の効率化 (P22~29)

(1) 経営指標・医療機能等指標に係る数値目標：平成32年度末の時点で達成すべき数値目標について、「経常収支比率100%以上」、「一般病床利用率88%以上」、「入院単価58,000円以上」等、12項目を設定

(2) 目標達成に向けた具体的な取組：数値目標の達成に向けて、「ヒト（人員配置計画）・モノ（施設・設備整備計画）・カネ（収支計画）」をセットで実行し、計画の実効性・実現性を担保

「収入増加・確保への取組」、「経費削減・抑制への取組」、「患者サービス向上への取組」、「医療安全対策への取組」、「人材確保・育成への取組」、「その他」に分類して具体的な取組内容を記載

(3) 新改革プラン対象期間中の各年度の収支計画等：平成32年度末の時点で経常黒字化を目指した計画を記載

(収益的収支)

(単位：百万円、税抜)

	(平成28年度)	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
経常収益	14,535	14,247	14,602	14,980	15,187
経常費用	14,917	14,603	14,910	15,018	15,180
経常損益	△382	△356	△308	△38	7
純損益	△289	△362	△313	△43	2
累積欠損金	478	840	1,153	1,196	1,194

(資本的収支)

(単位：百万円、税込)

	(平成28年度)	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
資本的収入	808	924	639	1,741	1,676
資本的支出	2,452	2,230	1,617	2,339	2,385
差引不足額	1,644	1,306	978	598	709

(人員配置計画)

(単位：人)

	(平成28年度)	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
職員数合計	725	760	790	800	805
うち医師数	126	122	138	142	145

(施設・設備整備計画)

(単位：百万円)

	(平成28年度)	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
整備費合計	469	700	460	1,626	1,620
主な整備内容	アンギオ更新	院内保育所移設 MRI増設	PET-CT新設	ダウングラフ新設 電子加算更新	リニアック更新 電子加算更新

③ 再編・ネットワーク化 (P30)

- ・地域医療構想において特段の言及もなく、病床利用率の著しい低下等も発生していないことから、当面、現状の体制を維持しつつ、地域医療機関等との連携を推進し、地域完結型医療ネットワークの構築に寄与

④ 経営形態の見直し (P31)

- ・新ガイドラインでは、選択肢として「地方公営企業法の全部適用（全適）」、「地方独立行政法人化（非公務員型）」、「指定管理者制度の導入」、「民間譲渡」を例示
- ・当院は、前ガイドラインに基づき、H21.4より全適を実施しており、一定の成果が表れていることから、引き続き現行の経営形態を維持しつつも医療需要等の動向にも注視し、必要に応じて検討

(大項目4) 点検・評価・公表等 (P32)

- ・実施状況について、年1回以上自己点検・評価を行うとともに、「豊川市民病院新改革プラン評価委員会（仮称）」を設置し、客観性を確保。その内容については、市民病院のホームページ等を通じて公表
- ・『Plan(新改革プランの策定) – Do(人員配置計画、施設・設備整備計画とともに収支計画等に掲げた数値目標を達成できるよう実行) – Check(評価委員会にて毎年点検・評価) – Action(必要に応じてプランを加筆修正)』を着実に実行